

基本理念

克つこと

基本方針

当事者意識を

心に残るものを

地域に対する愛を

まちのリーダーになる覚悟を

【はじめに】

入会してからこの数年間、自身の成長が組織の成長につながる、そう考え仲間と共に汗を流してきました。時には喧嘩をし、時には辛さ悔しさから涙をし、感動し笑いあい、今必死に打ち込むことが出来ているのは、自分一人ではなく仲間がいたからであると同時に、これまで美馬青年会議所を築き上げてこられた諸先輩方の空気感や足跡がまだ残っているからだと思っています。仲間や諸先輩方には感謝しかありません。

そして今、この美馬青年会議所をさらに発展させるために、我々は変わらなければいけないと感じています。40歳で卒業を迎えてしまうこの学び舎において、今どれだけの人が当事者意識を持ち、どのような思いでこの「美馬青年会議所」という組織と向き合っているのか。一人ひとりが学びに対する向上心を持ち、この歴史ある美馬青年会議所のメンバーの一人として使命や

核となる思いを持つことができれば、さらに魅力ある組織になれるのではないのでしょうか。

日々自分と真剣に向き合い、意味や目的を持って考え、行動に移したことが結果につながることを体感できれば、自ずと自分自身や周りの変化を感じることができるはずです。そうすることにより、個人の成長、そして組織の成長へとつながり、「明るい豊かな社会」を実現するために全員がこのまちでリーダーシップを発揮できる「地域から必要とされる組織」へと築き上げていきたいと思っています。

【当事者意識を】

美馬青年会議所での重要な意思決定を行う理事会の場において、全員が主旨や内容をしっかり理解した上で自分の考えを持ち、当事者意識を持って臨むということは、簡単そうでもとても難しいことです。一つひとつの議題において、どのようにすれば全員が問題意識を持って臨むことができるのでしょうか。

そのためには、メンバーの肩書きではなく、一人ひとりが役割を持ち責任をもって運営していく仕組みを構築することが必要であると考えています。また、理事会の内容や進捗を共有することにより全メンバーが状況を把握できることや、「クリード・ミッション・ビジョン・綱領」の理解を深めることも、メンバー全員が当事者意識を持つことにつながり、理事会に対するバリューを向上させることができると考えています。

地域の人たちへの情報発信においては、担当する委員会毎に自分たちの活動に誇りと思いをを持って発信することにより、それぞれに責任感が生まれ、さらには地域の方への伝わり方や関係性も変わるのではないのでしょうか。我々全員が一つひとつの事柄に対して自分の考えを持ち、知恵を出し合い、全員でフル稼働できる「一人ひとりが当事者意識を持った強い組織」へと向上させていきたいと思っています。

【心に残るものを】

目まぐるしいスピードで多様化が進み、未来を予測することが難しくなっている今、この瞬間をこのまちで暮らしている子どもたちにとって、自分で何かを決断するための判断基準はどんどん複雑になり、変化し続ける社会への適応力を身につけることが課題とされています。

子どもたちがこの複雑な社会の中で生き抜いていくためには、環境の変化に対応する柔軟性、新しいアイデアを生み出す想像力、問題解決力、コミュニケーション力やデジタルスキルなど、様々な能力が必要です。しかし、社会への適応力を身につける為には、それ以上に、生きがいややりがいを感じとれる力や、広い視野で物事を捉えられる豊かな感受性を身につけることが重要です。そのためには、変化していく未来を見据え、知識やスキルだけではなく、内発的動機を生み出すような夢や希望、情熱が溢れ出るような経験によって、子どもたちの適応能力を高めていく必要があると考えています。

このまちで育った子ども達が10年後、20年後に、今住み暮らすこのまちに対して、何を思い、どう過ごしているのか。我々の活動や運動は単なる点かもしれませんが、必ずや子ども達の心に

残るものを与えられるよう、失敗を恐れず挑戦し、真剣に子どもたちと向き合っています。

【地域に対する愛を】

美馬市・つるぎ町は、多くの歴史的・文化的資源が残されており、JRの駅や高速道路のインターチェンジも複数あり、温暖な気候で自然にも恵まれている住みやすい地域です。この素晴らしい地域では、古くから守られてきた多くの資源を活かし、伝統行事や芸能活動、運動やレクリエーションなどが行われていますが、人口流出や減少が止められない中、これらの地域のための活動が存続の危機にあるのが現状です。また、変わりゆく時代の中、これらの活動は、単なる現状維持だけでは衰退の一途をたどってしまいます。

我々にすべきことは、今このまちにある資源の潜在的な可能性を新たに見つけ出す多角的視点を持ち、新しいことに挑戦し続けることです。様々な活動が行われている中、美馬青年会議所が先頭に立って今ある資源の新たな可能性を広げることができれば、このまちにさらなる魅力があふれ、様々な現状の解決につながる糸口になると考えています。

「自分のすみ暮らすまちをどう思いますか」と聞かれたらどのように答えますか。「おもしろい、住んでいて楽しい、美しい、住み続けたい」と、誰もがまちの魅力を語るができるように、みんなを魅了し続けるまちにするために、我々全員が「自分の手でこのまちをより良くする」という意識を持ち、日々自分自身とこのまちに向き合いながら失敗を恐れず挑戦していく所存です。

【まちのリーダーになる覚悟を】

美馬青年会議所は、様々な課題に本気で向き合えば向き合うほど、多くのものを得ることができる組織です。それは、考える力が養われることなのか、このまちからの信頼なのか、生涯の友なのか、染み付いていく気概や迫力、雰囲気なのか、どれもお金で買えるものではなく、少しずつ積み重なって得られるものです。これは青年会議所という限られた枠組みの組織だからこそ得られることのできるものであり、自分の貴重な時間を割いて真剣に向き合うことができる私たちに平等に与えられているチャンスです。

時代の変化と同じ時を刻む仲間たち、これらはそれぞれ運命であり変えることはできません。「過去と他人は変えられない」という言葉がありますが、一生懸命努力し自分が変わることによって過去の失敗は成功への道すじに変わり、また自分の勇気ある挑戦によって周りの人たちの思いを変えることもできるはずです。すべてが自分次第です。

自分に「克つこと」。美馬青年会議所はそれが叶う環境の中にあり、私にはメンバーにこのチャンスを掴んでもらう責任があります。私はそのためにまず自ら行動で表してまいります。メンバー全員が克つことで、人生が豊かになること、そしてこの美馬青年会議所が魅力ある「キラリと光るダイヤモンド」のような価値ある組織となり、我々のすみ暮らすこのまちから「明るい豊かな社会」を実現できるよう、覚悟を持って組織に向き合うことを約束いたします。

大好きな仲間と一緒に、1年間全力で走り抜いてまいります。